

沖縄の鉄筋コンクリート 高耐久化シンポジウム 1

寿命が短いコンクリートは、
社会にとっても個人にとっても
大きな損失である

RC構造物を高耐久化させるため
コンクリート混和材などを使用し
サステナブルな社会を目指す。

2019年6月25日 (火)

13:30~16:30


開場 13:00

会場：沖縄県立博物館講堂

入場無料 (定員210名) 参加申込不要

主催：公益社団法人 沖縄県建築士会

問い合わせ先：info@a-nero.com

 建築士会CPD3単位

今本 啓一 / 東京理科大学工学部建築学科教授

2008- 東京理科大学

2018- 科学技術功労賞 (公益財団法人 スガウエザリング技術振興財団)

「歴史的鉄筋コンクリート造建築物の保存方法の構築」

2017- 日本コンクリート工学会賞 論文賞 (公益社団法人 日本コンクリート工学会)

「高炉セメントコンクリートの収縮 ひび割れ抵抗性の低下メカニズムの解明と
実際のな向上対策の 提案に関する研究」

研究テーマ：鉄筋コンクリート造建築物の材料学的視点から見た調査診断・保存

「国立西洋美術館」「軍艦島」保存研究

富山 潤 / 琉球大学工学部工学科准教授

研究テーマ：コンクリート構造物の耐久性について

数馬 良一 / 沖縄RC構造物高耐久化PJT世話人

伊志嶺 敏子 / 伊志嶺敏子一級建築士事務所 代表

根路銘 安史 / アトリエ・ネロ 代表

スケジュール

13:30-13:35 挨拶 西里幸二 (公益社団法人沖縄県建築士会会長)

13:35-14:35 基調講演 『RC構造物の高耐久化に資する材料について』

今本啓一 (東京理科大学工学部建築学科教授)

14:35-15:00 『フライアッシュの特徴について』

富山潤 (琉球大学工学部准教授)

15:00-15:25 『高炉スラグ微粉末の特徴について』

数馬良一 (沖縄RC構造物高耐久化PJT世話人)

15:25-15:35 休憩

15:35-16:15 パネルディスカッション

『沖縄RC構造物の方向性を考える』

今本啓一 / 富山潤 / 数馬良一 /

伊志嶺敏子 / 根路銘安史

16:15-16:30 質疑応答

* 17時より懇親会を近くの店で予定しております。